

2022年12月23日
株式会社紀伊國屋書店

「紀伊國屋じんぶん大賞 2023 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表

株式会社 紀伊國屋書店 (代表取締役会長兼社長 高井 昌史) はこのたび、「紀伊國屋じんぶん大賞 2023 読者と選ぶ人文書ベスト 30」を発表いたします。

「読者の皆さまと共に優れた人文書を紹介し、魅力ある『書店空間』を作っていきたい」——との思いから立ち上げた「紀伊國屋じんぶん大賞」は、今年で13回目を迎えました。

おかげさまで、本年もたくさんのご応募と推薦コメントをお寄せいただきました。一般読者の方々からいただいたアンケートを元に、出版社、紀伊國屋書店社員による推薦を加味して事務局にて集計し、ベスト 30 を選定いたしました。

※2021年11月以降に刊行された人文書を対象とし、2022年11月1日～11月30日の期間に読者の皆さまからアンケートを募りました。当企画における「人文書」とは、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論」のジャンルに該当する書籍（文庫・新書も可）としております。

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2023 読者と選ぶ人文書ベスト 30

1位	布団の中から蜂起せよ アナーカ・フェミニズムのための断章	高島鈴	人文書院
2位	言葉の展望台	三木那由他	講談社
3位	現代思想入門	千葉雅也	講談社
4位	トランスジェンダー問題 議論は正義のために	ショーン・フェイ/ 高井ゆと里 (訳)	明石書店
5位	哲学の門前	吉川浩満	紀伊國屋書店
6位	オックスフォード哲学者奇行	児玉聡	明石書店
7位	犠牲者意識ナショナリズム 国境を超える「記憶」の戦争	林志弦/澤田克己 (訳)	東洋経済新報社
8位	「修養」の日本近代 自分磨きの150年をたどる	大澤絢子	NHK出版
9位	凜として灯る	荒井裕樹	現代書館
10位	中国における技術への問い 宇宙技芸試論	ユク・ホイ/伊勢康平 (訳)	ゲンロン
11位	力と交換様式	柄谷行人	岩波書店
12位	植物考	藤原辰史	生きのびるブックス

13位	動物倫理の最前線 批判的動物研究とは何か	井上太一	人文書院
14位	生ける物質 アンリ・ベルクソンと生命个体化の思想	米田翼	青土社
15位	もうひとつの声で 心理学の理論とケアの倫理	キャロル・ギリガン/ 川本隆史・山辺恵理子・ 米典子 (訳)	風行社
16位	遠い声をさがして 学校事故をめぐる〈同行者〉たちの記録	石井美保	岩波書店
17位	地下出版のメディア史 エロ・グロ、珍書屋、教養主義	大尾侑子	慶應義塾大学出版会
18位	ジーファーの記憶 沖縄の簪と職人たち	今村治華	南方新社
19位	他者と生きる リスク・病い・死をめぐる人類学	磯野真穂	集英社
20位	物語とトラウマ クィア・フェミニズム批評の可能性	岩川ありさ	青土社
21位	古代中国の24時間 秦漢時代の衣食住から性愛まで	柿沼陽平	中央公論新社
22位	スピノザ 読む人の肖像	國分功一郎	岩波書店
23位	東京大学「ボーカロイド音楽論」講義	鮎川ばて	文藝春秋
24位	水俣病闘争史	米本浩二	河出書房新社
25位	橋川文三とその浪漫	杉田俊介	河出書房新社
26位	〈叱る依存〉がとまらない	村中直人	紀伊國屋書店
27位	編集者デイドロ 仲間と歩く『百科全書』の森	鷺見洋一	平凡社
28位	統合失調症の一族 遺伝か、環境か	ロバート・コルカー/ 柴田裕之 (訳)	早川書房
29位	21世紀の道徳 学問、功利主義、ジェンダー、幸福を考える	ベンジャミン・クリツァ ー	晶文社
30位	世界は時間でできている ベルクソン時間哲学入門	平井靖史	青土社

◆紀伊國屋じんぶん大賞 2023 フェアは、2023年2月1日(水)より開催予定です。選考委員および読者からの推薦コメントを掲載した小冊子を店頭にて配布いたします。詳細は各店舗にお問い合わせください。

※特設ページはこちら→ <https://store.kinokuniya.co.jp/event/jinbun2023/>

リリースに関するお問い合わせ先:株式会社 紀伊國屋書店 総務部 広報担当 info@kinokuniya.co.jp